

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2022年5月28日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール 【開催日程】ヴァイオリン部門 2022.5.21(土)~6.5(日) ピアノ部門 2022.6.11(土)~2022.6.26(日)

第8回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門レポート セミファイナル 第1日目 2022年5月27日(金)

山田 治生(音楽評論家)



No.13 石原 悠企 ISHIHARA Yuki

ヴァイオリン部門セミファイナル、トップバッターは、石原悠企。ベルリン芸術大学で学んだ彼は、前回(第7回)に続いての出場である。石原はドヴォルザークの協奏曲を選んだ。彼は、積極的に表情豊かな演奏を繰り広げた。音も艶があり、美しい。指揮者やオーケストラとも進んでコミュニケーションを取ろうとする。音色にこだわっての、弦の選択や指遣いのゆえか、第1楽章では音程が少し定まらないところもあった(ただ、そのチャレンジングなところは評価できる)。第2楽章も十分に歌う。第3楽章は一層積極的で、舞曲のような楽しさ。

セミファイナルのもう一つの課題曲は、R・シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」の“英雄の伴侶”の8分ほどのソロをコンサートマスターの席で弾くというもの。オーケストラにとっても容易でないこの部分、一回目ゆえか、最初、ヴァイオリン独奏とオーケストラが少しずれる場面もあったが、石原は、魅力的な音色と技巧の高さを示した。



No.19 城戸 かれん KIDO Karen

城戸かれんは、東京藝術大学及び同大学院で学んだ。2010年に日本音楽コンクールで第2位、2016年にカール・ニールセン国際音楽コンクールで第4位に入賞し、既に活発な演奏活動を行っている。

彼女はメンデルスゾーンの協奏曲を選んだ。第1楽章から芯のある音でしっかりと弾かれ、スケールの大きさもある。ただ、少し単調に聴こえるところがあり、柔らかな音などの表現のバリエーションがほしいところもあった。第2楽章でも、ヴィブラートを含めて、カンタービレの表現に練り上げる余地を残しているように思われる。第3楽章は、勢いがあり、生き生きとした音楽。勢い余って先に進み過ぎるようなところもあったが。

「英雄の生涯」では、彼女の強くて張りのある音が曲に合っているように思われた。ただ、弱音表現に物足りなさを感じるところもあった。

(裏面へつづく→)

■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp



No.2 ペク・チヒョン BAIK Jihyun

韓国出身のペク・チヒョンは、ジュリアード音楽院や韓国芸術総合学校で学ぶ。彼女はメンデルスゾーンの協奏曲を弾いた。端正で手堅い演奏。ただし、もう少し表現の大きさがほしかったし、音程の精度を上げる余地を残しているところもあった。第2楽章は美しく歌われていた。第3楽章は積極的で少し先に行くところも。

「英雄の生涯」では、始めはおとなしく感じられたが、徐々に調子を上げ、英雄の妻に合った音色やヴィブラートが選ばれ、作品に合った独奏を聴かせてくれた。

3人の演奏を聴き終えて、「英雄の生涯」の“英雄の伴侶”の箇所は、独奏者、指揮者、オーケストラにとっても難所であり、ここでは、通常の作品のようなコンサートマスターとしてオーケストラをリードする能力よりも、独奏の能力、アンサンブルの能力が問われているのだと認識した。



No.41 クリスティーン・ウー Christine WU

アメリカのクリスティーン・ウーは、マンハッタン音楽院やジュリアード音楽院で学ぶ。彼女は、ドヴォルザークの協奏曲を選んだ。ヴァイオリンを無理なく鳴らし、音が伸びやか。ただ、ドヴォルザークの第1楽章に求められるような気迫があまり感じられず(表現がおとなしい)、第2楽章のカンタービレでの情感の表出も物足りなく思った。それでも第3楽章はきっちりともまとめ上げていた。また、「英雄の生涯」のソロでは、難所を見事に決め、技巧の高さを示した。

なお、セミファイナルでは、広上淳一指揮の仙台フィルハーモニー管弦楽団が共演している。広上の表現は、幅が広く、起伏に富み、単なる伴奏では決してない。独奏者を思いやりながら、オーケストラを鼓舞する彼の指揮も聴きものである。

コンクールレポートは、予選から連日公式サイトでも配信しています。

コンクールってどうやって聴いたらいいの？どんな風に人は聴いているの？そもそもこのコンクールはどんなふうにして成り立っているの？昨日の演奏を聴き逃してしまった！！などなど、観客席やライブストリーミングでお楽しみの方にもわかりやすく、音楽評論家や仙台市在住の音楽関係者の方たちにコンクールをレポートしていただいております。コンクールニュースレターは、ホームページで演奏日の翌日以降に更新していますのでぜひあわせて、ご覧ください。セミファイナル第2日目のレポートもお楽しみに！



♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第8回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選から表彰式、ガラコンサートまでのライブ配信を4K60pで行っています。また演奏日の翌日から9月30日(金)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。

第8回仙台国際音楽コンクール公式サイト

https://simc.jp/8th_competition/

Facebook :@SendaiInternationalMusicCompetition

twitter :@sendai_simc